

第5節 国際緊急援助

主な事業概要と実績

災害援助等協力事業(国際緊急援助)

1. 事業(国際緊急援助隊)の開始時期・経緯・目的

● 開始時期

1987年9月、「国際緊急援助隊の派遣に関する法律」の施行により国際緊急援助隊は創設。

● 経緯・目的

海外の災害救援活動を行う人員を迅速に派遣する体制が必要であるとの認識の下、外務省は関係省庁ほか国内の病院、医療団体の協力を得て、海外の災害に医療チームを迅速に派遣するシステムを作ることとし、1982年、国際救急医療チーム(JMTDR: Japan Medical Team for Disaster Relief)を設立した。

その後、1985年のメキシコ地震等に対する援助の経験から、医療関係者のほかに救助、災害復旧の専門家を含む、より総合的な国際緊急援助体制の整備が必要であるとの認識が深まり、1987年9月、「国際緊急援助隊の派遣に関する法律」が国際協力の推進に寄与することを目的として施行された。

さらに、1992年6月には、国際緊急援助体制の一層の充実を図るため、自衛隊の技能、経験、組織的な機能を国際緊急援助活動に活用することを可能にする同法の改正が行われた。

2. 事業の仕組み

● 国際緊急援助隊の概要

国際緊急援助隊には、被災者の捜索・救助活動を行う救助チーム、医療活動(防疫活動を含む)を行う医療チーム、災害応急対策および災害復旧のための活動を行う専門家チーム、並びに(特に必要な場合)自衛隊の部隊がある。

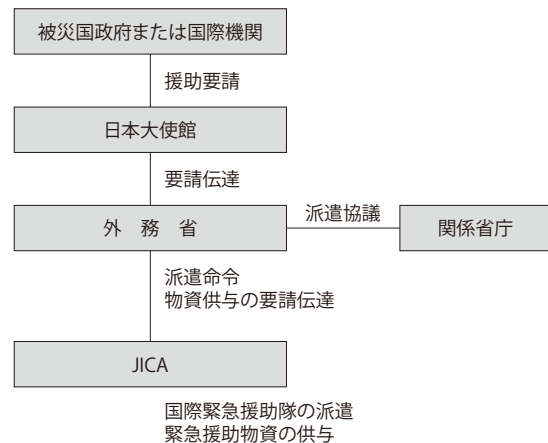
● 緊急援助物資供与の概要

JICAの管理する海外4か所(シンガポール、マイアミ、フランクフルト、ヨハネスブルク)の倉庫に備蓄しているテント、毛布、発電機等を被災国に供与する。

● 審査・決定のプロセス

海外で大規模な災害が発生し、被災国政府等から日本に対して援助要請があった場合、要請の内容、災害の規模・種類等に応じて緊急援助の内容、規模について検討を行い、関係行政機関等との協議を経て決定する。援助要請

から決定までのプロセスの例は次のとおり。



3. 最近の援助内容

● 概要

2010年度においては、パキスタンにおける洪水被害やニュージーランド南島における地震被害など、国際緊急援助隊を計11チーム派遣した。

そのほか、6月にミャンマーにおける洪水被害、10月のハイチにおけるコレラ感染拡大、翌2011年1月のスリランカ洪水被害など合計15件、総額約2億2,000万円相当の緊急援助物資の供与を行った。

2010年度の主な援助案件の概要は以下のとおり。

(1) パキスタンにおける洪水被害に対する緊急援助

2010年7月下旬にパキスタンで発生した洪水は、被災者が2,000万人を越す大きな被害をもたらした。

これに対し日本は、パキスタン政府からの要請を受け、国際緊急援助隊の自衛隊部隊および医療チームの派遣を決定、自衛隊部隊計516名(8月21日～11月9日)、医療チーム1次隊23名(9月3日～9月16日)、同2次隊23名(9月12日～9月25日)をパキスタンに派遣した。

自衛隊部隊は、自衛隊輸送機や自衛艦等を用いてパキスタンまで輸送したヘリコプター計6機により、パンジャブ州ムルタンにて輸送活動を実施。計260トンの緊急援助物資、約50名の援助関係者等を輸送した。

医療チームは、パンジャブ州サナワンの地域診療所において医療活動を行い、約3,500名以上の消化器疾患、

皮膚疾患、マラリア等の患者の診療を行った。

また、4,000万円相当の緊急援助物資の供与を行った。

(2) ニュージーランド南島における地震被害に対する緊急援助

2011年2月22日にニュージーランド南島で発生したマグニチュード6.3の地震は、同国クライストチャーチ市に大きな被害を与え、邦人28人を含む181人が死亡した。

これに対し日本政府は、ニュージーランド政府からの要請を受け、国際緊急援助隊の派遣を決定、救助チーム計131名(2月23日～3月12日)、専門家チーム(鑑識)5名(2月25日～3月5日)、専門家チーム(心のケア)計3名(2月25日～3月13日)、自衛隊部隊40名(政府専用機運航要員)(2月23日～3月3日)をクライストチャーチ市に派遣した。

余震が続く中での徹底した捜索・救助活動を行った救助チームをはじめとする日本の国際緊急援助隊に対し、ニュージーランド政府からは高い評価と謝意が示された。

● 実績

年度	国際緊急援助隊の派遣	緊急援助物資の供与
2008年度	3チーム(107名) <ul style="list-style-type: none"> ミャンマー連邦におけるサイクロン被害(医療チーム) 中国四川省における大地震(救助チーム、医療チーム) 	23件 (4億2,900万円相当)
2009年度	7チーム(257名) <ul style="list-style-type: none"> 台湾における台風8号による被害(専門家チーム) インドネシア西スマトラ州パダン沖地震災害(救助チーム、医療チーム、自衛隊部隊) ハイチにおける大地震(医療チーム、自衛隊部隊) チリにおける大地震災害(医療チーム) 	14件 (2億8,000万円相当)
2010年度	11チーム(746名) <ul style="list-style-type: none"> パキスタンにおける洪水被害(医療チーム、自衛隊部隊) インドネシアにおけるジャワ島中部メラピ火山噴火による被害(専門家チーム) ニュージーランド南島における地震被害(救助チーム、専門家チーム、自衛隊部隊) 	15件 (2億2,000万円相当)

4.より詳細な情報

● ホームページ

- 外務省・ODA・緊急援助：

http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/jindo/jindoushien2_3.html

- JICA・国際緊急援助隊：

<http://www.jica.go.jp/jdr/index.html>